

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

CISMOR 公開講演会

内側から見た華人社会

ー神戸のキリスト教をめぐる繋がりと 場の理解に向けて

【ゲストスピーカー】

王 柳蘭

京都大学白眉センター・京都大学地域研究統合情報センター特定准教授

【コメンテーター】

原 誠

同志社大学神学部教授

【司会】

四戸 潤弥

同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR センター長

2015 年 10 月 23 日（金） 16：40－18：30
同志社大学今出川キャンパス 同志社礼拝堂

【プログラム】

- | | | |
|------------|-----------------|-------|
| 1) 挨拶・講師紹介 | 16 : 40－16 : 45 | 四戸 潤弥 |
| 2) 講演 | 16 : 45－17 : 45 | 王 柳蘭 |
| 3) コメント | 17 : 45－18 : 05 | 原 誠 |
| 4) 質疑応答 | 18 : 05－18 : 30 | |

【講師略歴】

王 柳蘭（おう りゅうらん）

神戸市生まれ。

神戸女学院大学卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科進学（人間・環境学博士）。その後、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科助教、日学術振興会特別研究員 RPD を経て、現京都大学白眉センター・京都大学地域研究統合情報センターにて特定准教授として所属。

専門領域は文化人類学・地域研究、研究課題はアジアにおける中国系ディアスポラの多元的共生空間の生成（タイを中心に、中国、台湾や日本におけるフィールドワークも行っている）。

〈自己紹介〉

移民研究をはじめたきっかけは、台湾系 2 世の父と日本人の母に育てられた文化的民族的背景が強く影響していると言ってもよいでしょう。けれども、もともと英文学科出身であり、自分の出自につながる中国や台湾系の移民を研究として取り組む意識はさほど強くありませんでした。きっかけとなったのは、大学や大学院時代を通じて今に至る人類学に導いてくれた恩師の励ましです。また、「己を問う」ことを通して学問をすることの大切さをフィールドワークから学ぶことができたことも、研究を続けていく支えになっています。東アジアと東南アジアの境界線上で生じる移民の生き方、祈りを通じて共同体を形成していく宗教の動態や民族間の関係、開かれた多元的な共生のあり方に関する人類学・地域研究を志しています。

【コメンテーター略歴】

原 誠（はら まこと）

1948 年福岡県生れ。同志社大学大学院神学研究科（歴史神学・前期課程）修了。博士（神学）（同志社大学）。現在、同志社大学神学部教授。専門は、日本とアジアのキリスト教の歴史。日本プロテスタント史を、東南アジアのキリスト教史との比較研究によってその特質を明らかにしようとする。著書『国家を超えられなかった教会－十五年戦争下の日本プロテスタント教会』（日本キリスト教団出版局、2005 年）、共著『東南アジア史のなかの日本占領』『日本軍政とインドネシアのキリスト教』を執筆）（早稲田大学出版部、1997 年）、監修『キリスト新聞で読む戦後キリスト教史』（キリスト新聞社、2003 年）、共訳『アジア・キリスト教史（2）』（教文館、1985 年）など。日本キリスト教学会、日本宣教学会、キリスト教史学会、会員。

【次回講演会】

一神教学際研究センター・アメリカ研究所主催
公開講演会
「米のアジア外交」

日時:2015 年 11 月 4 日(水)16:30-

講師:アダム・ガーフィンクル(アメリカン・インタレスト編集長)

会場:同志社礼拝堂

入場無料・事前申込不要

MEMO

- 入場無料・事前申込不要
- お問い合わせ 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
TEL:075-251-3972 E-mail:info@cismor.jp
HP: <http://www.cismor.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/doshisha.cismor>